

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【公開番号】特開2004-199654(P2004-199654A)

【公開日】平成16年7月15日(2004.7.15)

【年通号数】公開・登録公報2004-027

【出願番号】特願2003-355115(P2003-355115)

【国際特許分類】

G 06 F 17/50 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/50 6 1 0 A

G 06 F 17/50 6 2 4 E

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月7日(2008.1.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

3Dモデルの出力の処理が選択されたことを判断する判断手段と、
前記3Dモデルのデータの画像処理が設定されたモードを前記3Dモデルの出力の処理
に対応してそれぞれ記憶する記憶手段と、

前記記憶手段によって記憶されたモードのうち、前記判断手段による3Dモデルの出力
の処理の選択に対応するモードを設定する設定手段とを有することを特徴とする3DCAD装置。

【請求項2】

請求項1において、前記画像処理は、前記3Dモデルの面の色相、明度、彩度、前記3
Dモデルの稜線の色、背景色、およびグラデーションの有無のうち少なくとも1つの画像
処理を含むことを有することを特徴とする3DCAD装置。

【請求項3】

請求項1において、前記判断手段によって投影装置による出力の処理であることが判斷
された場合、前記設定手段は、前記3Dモデルの面の彩度を高くするモードに設定するこ
とを特徴とする3DCAD装置。

【請求項4】

請求項1において、前記判断手段によってプリンタによる出力の処理であることが判斷
された場合、前記設定手段は、前記3Dモデルの面のグラデーション処理が実行されるモ
ードに設定することを特徴とする3DCAD装置。

【請求項5】

3Dモデルの出力の処理が選択されたことを判断する判断ステップと、
前記3Dモデルの出力の処理に対応して前記3Dモデルのデータの画像処理が設定され
たモードが記憶されたテーブルの中から、前記判断ステップにおいて判断された3Dモ
デルの出力の処理に対応するモードに設定する設定ステップとを有することを特徴とする3
Dモデルの出力方法。

【請求項6】

請求項5において、前記画像処理は、前記3Dモデルの面の色相、明度、彩度、前記3
Dモデルの稜線の色、背景色、およびグラデーションの有無のうち少なくとも1つの画像

処理を含むことを有することを特徴とする 3 D モデルの出力方法。

【請求項 7】

請求項 5において、投影装置による出力の処理が選択された場合、前記 3 D モデルの面の彩度を高くするモードに設定することを特徴とする 3 D モデルの出力方法。

【請求項 8】

請求項 5において、プリンタによる出力の処理が選択された場合、前記 3 D モデルの面のグラデーション処理が実行されるモードに設定することを特徴とする 3 D モデルの出力方法。

【請求項 9】

請求項 5ないし請求項 8に記載の 3 D モデルの出力方法を実行するためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

3 D モデルの出力の処理が選択されたことを判断する判断手段と、前記 3 D モデルのデータの画像処理が設定されたモードを前記 3 D モデルの出力の処理に対応してそれぞれ記憶する記憶手段と、前記記憶手段によって記憶されたモードのうち、前記判断手段による 3 D モデルの出力の処理の選択に対応するモードを設定する設定手段とを有することを特徴とする 3 D C A D 装置を提供する。